



季節限定、五分だけの 「氷ノ山夕焼けショータイム」

日が沈むのが早くなったと感じる秋の夕暮れ、
外に出ると遠くの山々も、目の前のナナカマドも、
辺り一面が真っ赤に染まっていました。
刻一刻と移り変わる赤色は、五分もすると夕闇へと変わります。



氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



ナナフシ祭り 8/2

テンニンソウの葉っぱの上にエダナ
ナフシ発見! あっちにも! こっちに
も! 結局この辺りだけで18匹見つけ
ました。祭りでもあったんでしょうか。

モリアオガエルの産卵

6/ 3 スタート
6/13 産卵祭り(43卵腕)
7/12 今シーズン最後の産卵
今シーズンは合計207卵腕で
した!

なぜ事務所にいる!

6/12 シロマダラ
7/1~ ヒメネズミ
しばらく職員のおや
つを食べまくる

若桜の川の仲間たち

6/27 ドンコ、カワヨシノボリ、
タカハヤ、サンインユガタ
スジシマドジョウ、ニシシ
マドジョウ、トウヨシノボ
リ、カジカガエル
7/19 カマツカ





木の利用＝先人の知恵

つくよね神社の
大ケヤキ



つくよね神社：柱、梁などケヤキが使われています



サルナシ：昔はつり橋に利用



キハダ：樹皮の黄色い層が生薬（黄柏）になります



ホオノキ：包丁の柄、鞘、まな板等に使われています

山国の日本では古来より木は人間の生活に欠かせないものでした。青森県の三内丸山遺跡では直径が1メートルもあるクリの木を大きな建物の柱にしていたことが分かっています。今から約5000年も前の話です。クリの木が丈夫で腐りにくい事を良く知っていた事、しかも土に埋めて立てていた底の部分は表面を焼いて防腐効果を更に高めていた事など驚くことばかりです。

このように古来から利用されてきた木ですが、木の特性とその利用について書いてみます。

<ブナ科>ブナ、カシ、ナラ、シイ、クリ等ですが、どれも材は固く、粘りもあり非常に丈夫なので、斧、鋏など、力を入れて使う道具の柄などに使われています。氷ノ山辺りで多いミズナラはウイスキーの樽には最上級材料らしいです。

<カバノキ科>氷ノ山にはシデ類、ヤマハンノキ、ヤシャブシなどが多いですが、ここではミズメを紹介しておきます。梓（アズサ）とも呼ばれ、丈夫で弾力があるので昔は丸木弓に使われていました。今は高級家具の材料となっています。小枝を折ると湿布薬の匂いがするので、自然観察の時は匂いを体験してもらっています。

<ニレ科>ケヤキ、ムクノキ、エノキ、オヒョウ、アキニレ、ハルニレなどですが、どの木も硬く、丈夫で耐久性があります。中でもケヤキは寺社仏閣の建築には必ず使われています。カンナやノミがすぐに切れなくなるほど硬く大工さん泣かせの木材です。餅つきの臼もケヤキです。氷ノ山でもたまに見かけるオヒョウは北海道に多く、皮の繊維が長く丈夫でアイヌのあの独特の模様の民族衣装はこの木の皮から作った糸で織っているそうです。

<バラ科>ヤマザクラの材は緻密、丈夫で赤みがかかって美しく、狂いが少ないことから家具や彫刻、楽器などに利用されています。また燻製用のスモークチップとして最適です。カマツカは氷ノ山のあたりではまれにしかありませんが、最も丈夫な木として有名で、万が一折れても破断せず安全なので石工が使う玄能（大きなトンカチ）の柄はこの木が最適とされています。鎌の柄に使ったのでカマツカという名前がついています。秋になると2cmくらいの小さなリンゴの味がする実がなります。

<その他>エゴノキは硬くて割れにくく丈夫な為、和傘のろくろ（骨をまとめる部分）に、ホオノキは柔らかく狂いが少ない為、まな板や包丁の柄などに、ヤマボウシは非常に



硬く丈夫なので鐘をたたく撞木（しゅもく）に、サルナシのつるは強く耐久性がある為、ワイヤーが無かった頃は溪谷を跨ぐつり橋に使われました。また、漆器に塗ったウルシ、養蚕のクワ、溪流釣りのタモ枠に利用されているチャボガヤ、樹皮が有名な生薬（黄柏）になるキハダなど、先人たちは本当に沢山の種類の木をその性質を熟知して巧みに利用してきたことが分かります。

一方、プラスチックなどの新素材がこれらの用途に取って代わり、木が利用されなくなってきたこと、また国策として自然林を伐採して杉やヒノキを植樹してきたこと、そして最近ではシカの食害がひどくなった事などから森の多様性が損なわれつつあります。

里山や森は木の利用や薪、炭作りの為に人が立ち入ってきたことにより良い状態が保たれてきました。自然保全に配慮し、森の生き物の食べ物もしっかり残しつつ、且つ人間の作った規則も守りながら、これからも木材の利用や山菜や木の実、キノコなど、森の恵みを頂きに山に入ってみてはいかがでしょうか？

（松平）

Special Issue

あんなこと、こんなこと



親子自然研究クラブ「川の生き物調べ」
6/27㊥



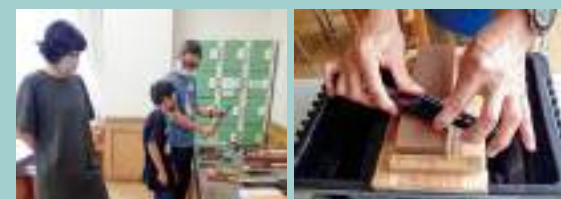
今年も「漁師のおっちゃん」を講師に迎え、観察会を行いました。ただ、いつもと違うのは新型コロナウイルス対策をしなければならなかったこと。集合の時も、他の家族とは距離を保つことに注意して、定員もいつもより少なくして、参加者にも、先生にもいろいろ我慢してもらいながらの開催となりました。

でも、川の中にはいつものようにたくさんさんの生き物がいて、楽しく活動ができました。参加者の中には久々に自然の中で遊べた方もあり、本当に開催できてよかったなぁと思いました。



刃物研ぎ講座

6/28㊥



アウトドアではナイフが、家庭では包丁が必需品。でも切れない刃物は逆に危険です。気持ち良〜く使うために刃物研ぎ講座を企画しました。

1家族のみの参加でしたが、研いでキンキンに切れるようになった包丁に大満足。恒例イベントとしますので皆さんも是非ご参加ください。



昆虫写真家海野和男氏 スライド&トーク
7/18㊥



昆虫好きの子ども・家族やカメラ好きの方が多数参加される中、2回開催したギャリートークでは展示写真の撮影時のエピソードなどの話、スライド&トークでは直近の東南アジアで撮影された昆虫の写真や動画を披露して頂きました。

終了後のサイン会では、海野さんは子どもの質問にも丁寧に答えて下さいました。



響の森インタープリターのイチ押し情報

イヌワシのフィジカルディスタンス



大人のイヌワシが羽を広げた時の長さは約2mあり、新型コロナウイルス感染拡大予防策として、人と人の間隔を取るフィジカルディスタンスと同じです。響の森エントランスホールに展示しているイヌワシの着ぐるみでご確認下さい。イヌワシの翼の大きさをあらためて実感できますよ。

Highly Recommended



クルー活動紹介

※クルー：響の森ボランティア

5月～7月の活動内容

- 扇ノ山登山補助 (1)
- 自然調査 (3)
- イベント打ち合わせ (1)
- 刃物研ぎ講座補助 (1)
- 海野和男氏「スライド&トーク」での会場整理 (4)
- 昆虫を作ろう補助 (1)

()は延べ人数



クルーを随時募集しています！
お問い合わせ・登録はお気軽に響の森まで！

忙しい時のクルーだのみ

このご時世、密を避ける為、いつも以上にスタッフが必要です。こんな時はクルーに一斉連絡です。
いや〜いつも助かります！

Activity Report

イベントカレンダー 2020年 9月～11月

たくさんのご参加、お待ちしております！

9月	9～10月	いつでも作れるコーナー ・キノコのキーホルダー	土日祝のみ
	20日⑤	親子自然研究クラブ 「秋の花」	
10月	3日④ 11/29日⑤	秋の特別企画 「しかたなくシカ展」 	無料
	10日⑤	親子自然研究クラブ 「動物の痕跡探し」	
	17日⑤	親子で登る氷ノ山登山	
	31日⑤	国定公園の山登り 「紅葉の扇ノ山登山」	

11月	11～12月	いつでも作れるコーナー ・クリスマス飾りづくり	土日祝のみ
	3日④⑤	紅葉ハイキング ～東因幡林道を歩く～ 時間／9:00～15:00 料金／800円 	
	8日⑤	ワークショップ たき火で焼き芋づくり 料金／800円 	
	14日⑤	親子自然研究クラブ 「巣箱調査」	
	21日⑤	創作体験 「花炭づくり」	

Recommended Books 森のオススメ本

小さなハンター ハエトリグモ

生き物は好きだけど、クモは無理！っていう人もいるぐらい、嫌われ者のクモ。クモ嫌いな人にもぜひ見てほしい。ダンスを踊り、子育てする愛らしいクモの姿を!! ハエトリグモのカワイイがあふれ出す1冊です。



【発行】ポプラ社 【写真・文】坂本昇久



Information インフォメーション

プライベートプログラム 響の森 エコツアー インタープリター がご案内

「団体じゃないけど希望の日程で参加したい」「家族だけで楽しみたい」…など、少人数のお客様のプログラムで「2名様から受付」。ガイドは響の森インタープリター。氷ノ山のツボをしっかりと押さえているので楽しいツアーになること間違いなしです。ぜひリクエストしてください。

リクエスト受付中
詳しくは「響の森」に
お問合せください

響の森エコツアー ガイドウォーク

響の森周辺をインタープリターがご案内。
動物の痕跡探しや落ち葉遊びなど、
子どもさん連れのご家族向けです。

開催日 9～11月のご希望の日時に開催

※イベント開催や予約状況等によりご希望に添えない場合があります。

- 対象 ご家族、少人数グループ
- 定員 2～9名 料金 800円／人
- 時間 約1時間30分
- 活動場所 響の森周辺
- 服装 野外で活動できる服、靴、帽子
- 持ち物 リュック、飲み物、雨具、タオル
その他野外活動に必要なもの

お問い合わせ TEL (0858) 82-1620



(一財) 鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つくよね
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612
[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp
[HP] https://www.hibikinomori.gr.jp/

開館時間／午前9時～午後5時

	4月～9月	10月・11月	12月～3月
月曜日		月・火曜日	月～水曜日
夏休み 期間中は無休			12/29～1/3
祝日の場合は翌日休			



入館
無料



木の実とキノコ。美味しい秋をいただきます～
す。(松平) 家族向け、少人数対応のエコツアー。密を避けつつじっくりと自然と向き合うオススメプログラムです。(高橋) こんな時だから、自然の中できれいなもの、不思議なもの、面白いものに出会ってほしい。響の森、頑張ります♪(岡田)

編集後記